

広島県道路公社が管理する有料道路の収支等の状況について

道路企画課

1 要 旨

広島県道路公社が管理する2路線の収支等の状況について報告する。

2 路線別収支等の状況

(1) 令和元年度収支状況

(単位：千円)

区 分	広島熊野道路	安芸灘大橋有料道路	摘要
道路料金等収入 (A)	633,243	577,407	R元年度日平均交通量(台) 9,370(広熊) 4,394(安芸灘)
管理業務費等費用 (B)	412,078	279,619	損失補てん引当金等を除く
特別法上引当金等繰入 (C=A-B)	221,165	297,788	
償還準備金繰入 (D)	164,478	245,968	
損失補てん引当金繰入 (E)	56,687	51,820	道路料金収入(税抜)の10%

(2) 令和元年度末時点償還状況

(単位：千円)

区 分	広島熊野道路	安芸灘大橋有料道路	摘要
有料道路事業費 (F)	8,100,000	11,000,000	
うち県出資金 (G)	2,475,000	3,850,000	
特別法上引当金等繰入累計 (H)	8,374,468	8,920,803	
償還準備金繰入累計 (I)	6,727,524	7,659,523	
損失補てん引当金繰入累計 (J)	1,646,944	1,261,280	道路料金収入(税抜)の10%
(参考) H30年度末償還準備金繰入累計	6,563,046	7,413,555	
H30年度末損失補てん引当金繰入累計	1,590,257	1,209,460	

3 広島熊野道路の無料開放について

(1) 無料開放時の償還状況の見込み

ア 広島熊野道路については、料金徴収期間が令和2年12月5日で満了となるため、令和2年12月6日から無料開放する予定であり、無料開放にあたっては、有料道路事業費81億円に加え、料金所の撤去や回数券の払戻し等のための経費として、約1.9億円を確保する必要がある。

イ 料金徴収期間満了時(令和2年12月5日)の償還状況としては、償還準備金繰入累計が約67.2億円、損失補てん引当金繰入累計が約16.8億円となる見込みである。

ウ 有料道路事業費の償還は、計画上は償還準備金を充てることとなっているが、当路線においては償還準備金のみでは必要額に到達しない見込みであるため、不足額に損失補てん引当金を充当する。

(2) 今後の対応

引き続き、有料道路の適切な管理と確実な償還に取り組むとともに、無料開放後の交通量を踏まえた交差点のレーン増設や信号表示サイクルの最適化など、周辺道路の円滑な交通の確保のために必要な対策を実施し、無料開放後の道路管理者となる県及び広島市への広島熊野道路の適切な移管が図られるよう、関係機関と連携して取り組んでいく。